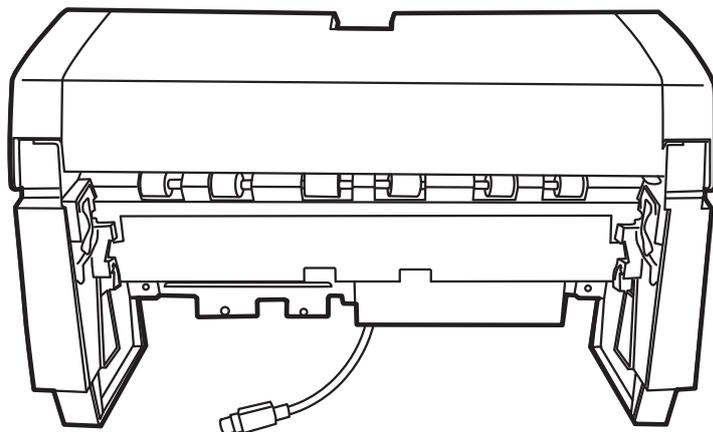


fi-667PR インプリンタ

オペレーターガイド



目次

はじめに.....	1
第 1 章 お使いになる前に	5
1.1. 本体と付属品の確認.....	5
1.2. インプリンタ外観.....	5
第 2 章 インプリンタ 設置と接続	7
2.1. インプリンタの取り付け.....	7
2.2. プリントカートリッジの取り付け.....	9
2.3. 動作確認.....	10
第 3 章 基本的な操作方法	11
3.1. 印刷位置の合わせ方.....	11
3.2. 原稿づまり防止ガイドの使い方.....	11
3.3. 印刷設定.....	12
3.4. プリントカートリッジの交換.....	12
3.5. 原稿づまりの解除方法.....	14
第 4 章 日常のお手入れ	15
4.1. プリントカートリッジの清掃.....	15
4.2. インプリンタの清掃.....	15
4.3. ローラの清掃.....	16
4.4. インプリンタの取り外し方.....	16
第 5 章 エラーメッセージ	17
第 6 章 仕様	19
修理・問い合わせについて	20

お願い

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

はじめに

このたびは、fi-667PR をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

fi-667PR は、fi-6670/fi-6670A イメージスキャナで使用するオプションユニットです。

本書は、インプリンタの使い方について説明しております。本書にしたがって正しくご使用ください。

(fi-6670/fi-6670A 本体の使い方については、fi-6670/fi-6670A に添付されている SETUP DVD-ROM で提供されている『イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。)

消耗品の交換方法など大切な情報が記載されておりますので、大切に保管してください。

fi-667PR を活用していただくために、本書が皆様のお役に立つことを願っております。

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

製造・開発元

株式会社 PFU
〒220-8567
神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5
(横浜アイマークプレイス)

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Windows Server [®] 2008 Standard (32/64 ビット) Windows Server [®] 2008 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2008 (*1)
Windows [®] 7 Home Premium (32/64 ビット) Windows [®] 7 Professional (32/64 ビット) Windows [®] 7 Enterprise (32/64 ビット) Windows [®] 7 Ultimate (32/64 ビット)	Windows 7 (*1)
Windows Server [®] 2012 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 (*1)
Windows Server [®] 2012 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 R2 (*1)
Windows [®] 8 (32/64 ビット) Windows [®] 8 Pro (32/64 ビット) Windows [®] 8 Enterprise (32/64 ビット)	Windows 8 (*1)
Windows [®] 8.1 (32/64 ビット) Windows [®] 8.1 Pro (32/64 ビット) Windows [®] 8.1 Enterprise (32/64 ビット)	Windows 8.1 (*1)

*1: オペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

使用済製品の廃棄とリサイクルについてのご案内

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

VCCI 適合基準について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。



詳細は富士通ホームページ「環境活動」をご参照ください。

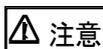
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、PaperStream IP (TWAIN)ドライバのものであります。

本書では、Windows 7 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、PaperStream IP (TWAIN)ドライバをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なる場合があります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身で行わないでください。製品をお求めになった販売店、あるいは株式会社PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

安全上のご注意



電源ケーブルを傷つけない。



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグに傷みがある場合、または、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。



指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する。
指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因になることがあります。製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となる場合があります。



必ずアース接続をする。

感電のおそれがあります。必ずアースを接続してください。

アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。

アース接続を外すときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

 <p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 たこ足配線しない。</p> <p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線は避けてください。</p>	 <p>エアスプレーを使用しない。</p> <p>清掃などの目的でエアスプレー及びアルコール等を含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。</p> <p>また、静電気などによるスパーク(火花)により引火する恐れがあります。</p>
 <p>濡れた手で電源ケーブルを触らない。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。</p>	 <p>小さなお子様の手の届くところに設置しない。</p> <p>小さなお子様の手の届くところに設置しないでください。けがの原因となることがあります。</p>
 <p>電源プラグのほこりは、よく拭き取る。</p> <p>電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。</p>	 <p>温度が高くなる場所に長時間触れない。</p> <p>本体底面などの温度が高くなる場所に長時間触れて使用しないでください。低温やけどの原因となることがあります。</p>
 <p>油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない。</p> <p>油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 <p>使用中に装置を覆わない。</p> <p>使用中の装置に布団をかけたたりして使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>
 <p>異臭がしたら使用しない。</p> <p>万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにスキヤナ本体の電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店 または株式会社PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	 <p>水場で使用しない。</p> <p>風呂場、シャワー室、プールなどの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。</p>
 <p>機器を破損したら電源を切る。</p> <p>機器を落としたり、カバーなどを破損したりした場合は、スキヤナ本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または株式会社PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。</p>	
   <p>内部に水や異物を入れない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口部(通気口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。 水をかけるなどして本体を濡らさないでください。 異物(水、金属片、液体など)が機器の内部に入った場合は、ただちにスキヤナ本体電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または株式会社PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。特にお客様のいるご家庭では注意してください。 	
 <p>異常が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>異常発生時には、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>アース線は電源プラグを抜くまで外さないでください。</p>	
 <p>むやみに内部を開かない。</p> <p>装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。</p>	
 <p>本装置は日本国内専用です。</p> <p>本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。</p>	

⚠ 注意



装置を不安定なところに置かない。

装置のどの部分も設置する机から突き出さないように置いてください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



電源プラグを確実に差し込む。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



通気口をふさがない。

通気口をふさがりますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがらないでください。



装置の上に重いものを載せない、上に乗らない。

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない。

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。



装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。

ケーブルを接続したまま装置を移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。



静電気を避ける。

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させると、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。



歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする。

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光の当たる場所に置かない。

直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。



紙の取り扱いに注意する。

紙を取り扱う際は、紙の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



装置を濡らさない。

雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。

第1章 お使いになる前に

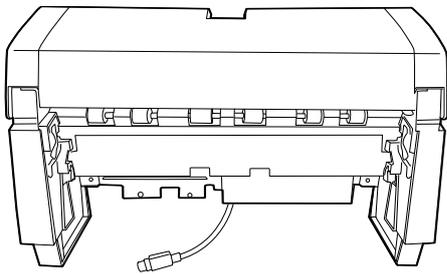
1.1. 本体と付属品の確認

下記の梱包品がすべて揃っているかどうかを確認してください。

万一、足りないものや不良品がありましたら、販社/販売店または株式会社PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。

なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

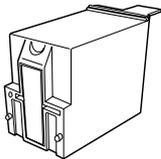
- インプリンタ本体 (×1)



- アタッチメントガイド (×1)



- プリントカートリッジ (×1)



- オペレーターガイド (×1) (本書)



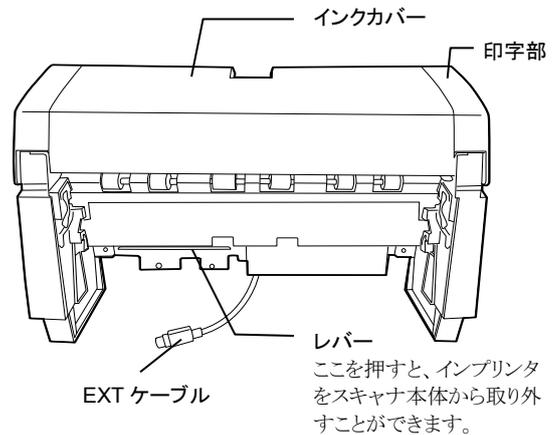
- 保証書 (×1)



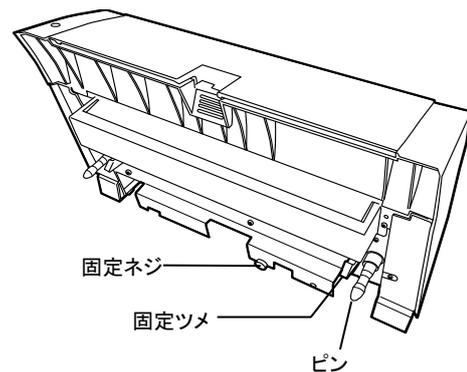
1.2. インプリンタ外観

<インプリンタ単体>

前面



背面

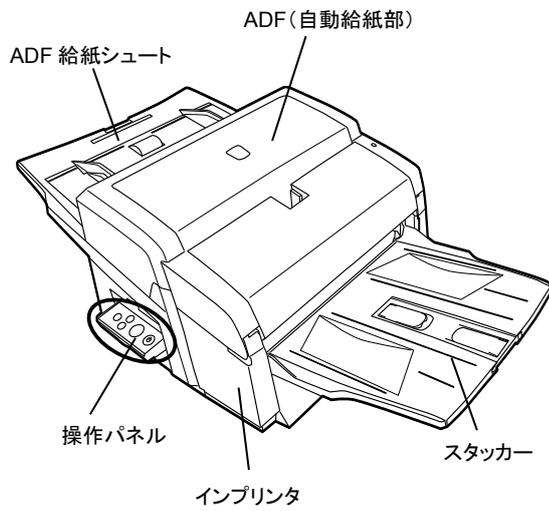


<アタッチメントガイド>

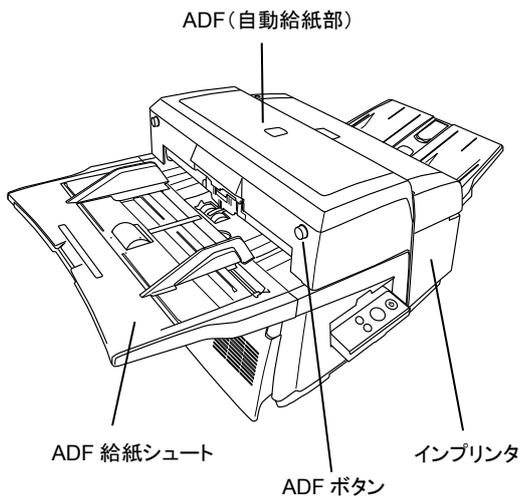


<スキャナ搭載時>

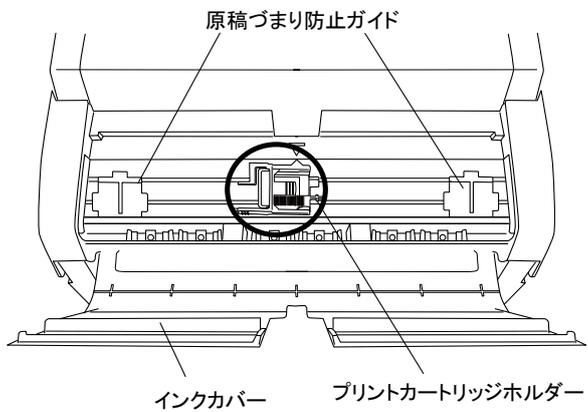
前面



背面



<インプリンタ内部>

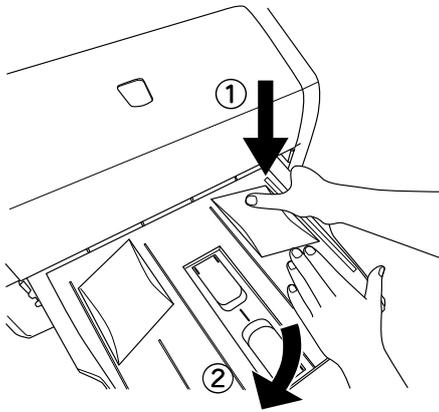


第2章 インプリンタ設置と接続

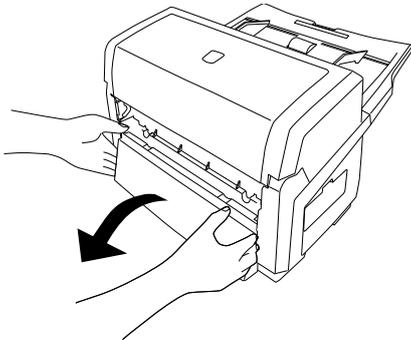
2.1. インプリンタの取り付け

以下の手順でインプリンタを取り付けます。

1. スキャナの電源スイッチを切断し、電源ケーブルを外します。
2. スキャナからスタッカーを取り外します。
 - ① 図のように、スタッカーの片側をゆっくりと下に押し、接続部の突起を外します。
 - ② 矢印方向に引き、スタッカーをスキャナ本体から取り外します。



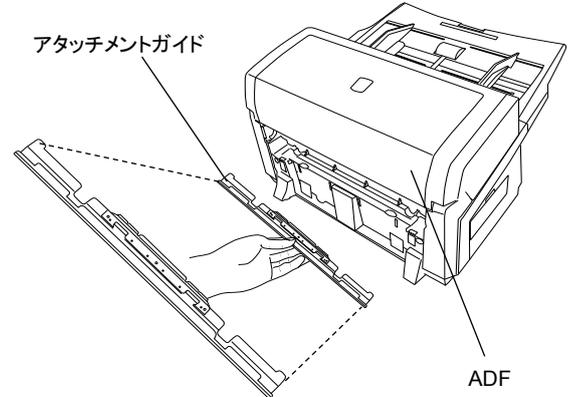
3. スタッカーの下にあるカバーを外します。



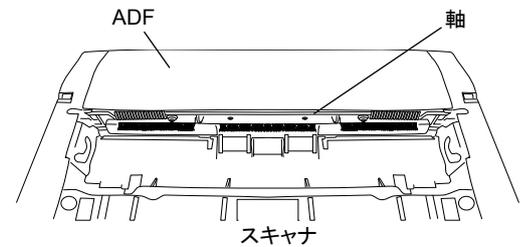
インプリンタを取り付ける前に、必ずスキャナ本体のスタッカーとカバーを外してください。

4. スキャナに、アタッチメントガイドを取り付けます。

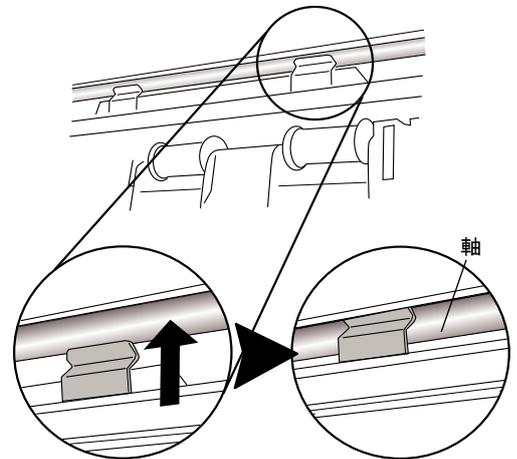
- ① アタッチメントガイドの方向を確認します。



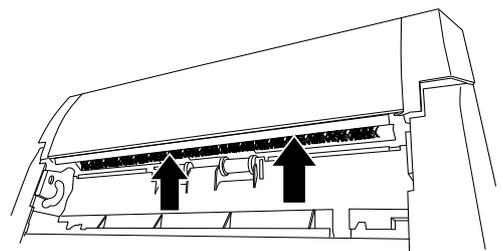
- ② 下からのぞき込んで、軸の位置を確認します。



- ③ アタッチメントガイドを軸に合わせます。

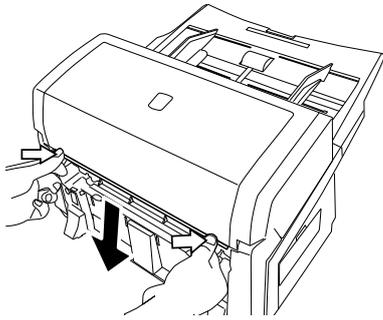


- ④ アタッチメントガイドを、下から押し上げて取り付けます。

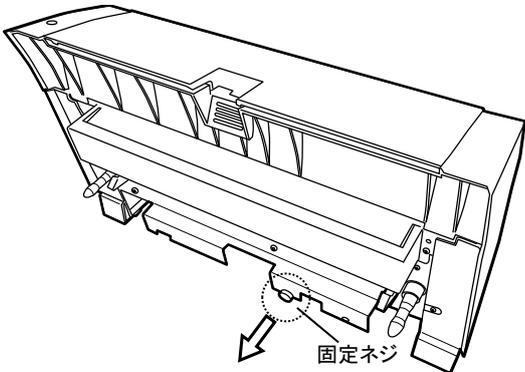




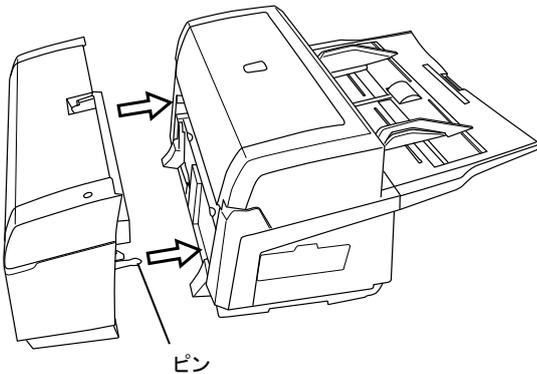
アタッチメントガイドの取り外し方
図のように、指を押し当てて、アタッチメントガイドを下にずらして外します。



5. インプリンタに仮止めされている「固定ネジ」を外します。



6. スキャナ本体にインプリンタを取り付けます。

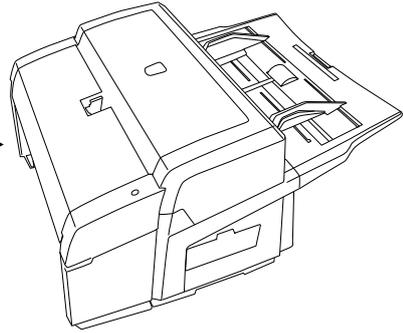


スキャナ側の丸い穴 (2箇所) に、インプリンタ側のピンを差し込むようにして取り付けます。

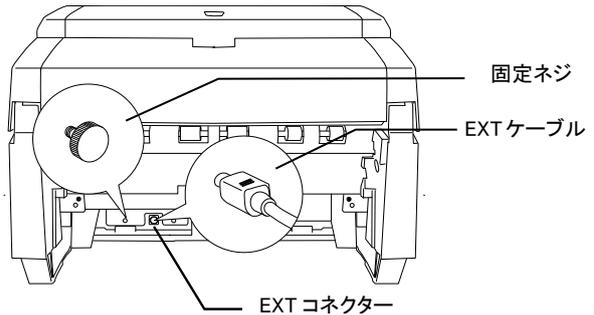


- インプリンタを持ち上げる際は、インプリンタの底部を持ってください。
- インプリンタがスキャナにしっかりと固定されるまで押し込んでください。
(→インプリンタを引いてもスキャナから外れないことを確認してください。)
- 指をはさまないように、注意してください。

搭載後



7. インプリンタを固定ネジで固定します。(1箇所)



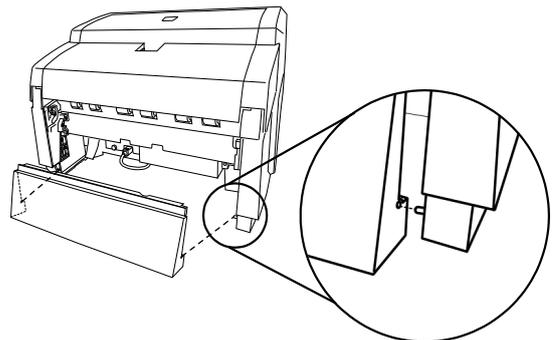
8. EXTケーブルを、スキャナのEXTコネクタに接続します。



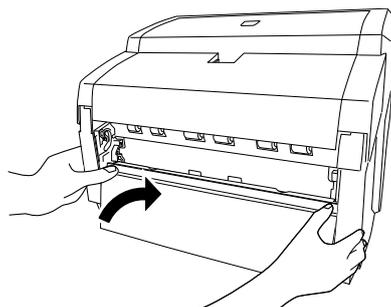
EXTケーブルを接続しないと、インプリンタの駆動系が動作しません。
この状態で読み取りを行うと、インプリンタ内で原稿づまりが発生します。

9. 手順3で取り外したカバーを取り付けます。

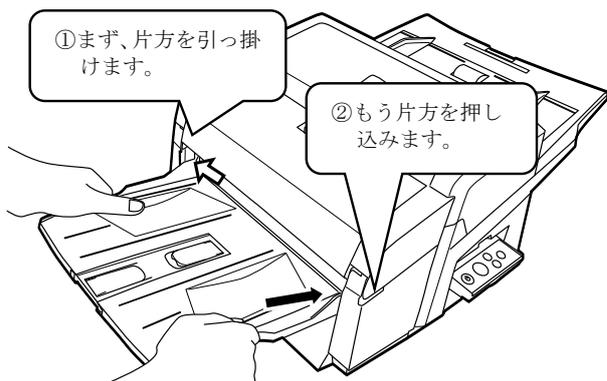
- ① カバー下部両端にある穴に、インプリンタ側の凸部を入れます。



- ② カバー上部を押して、インプリンタに固定します。



10. 手順2で取り外したスタッカーを取り付けます。



11. 電源ケーブルを接続します。

2.2. プリントカートリッジの取り付け

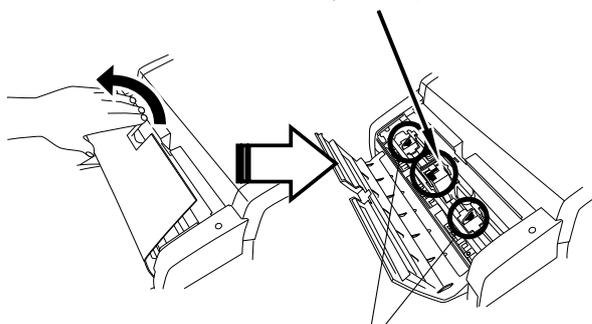
以下の手順でプリントカートリッジを取り付けます。



プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

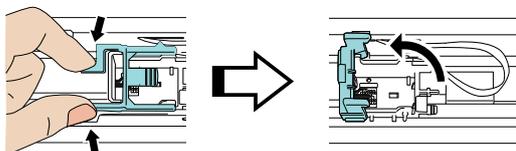
1. スキャナの電源が切断されていることを確認します。
2. インクカバーの中央に手をかけ、図のように開きます。

プリントカートリッジホルダー

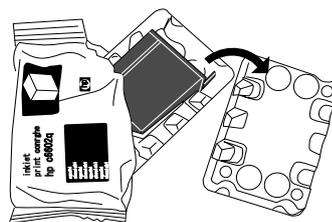


原稿づまり防止ガイド

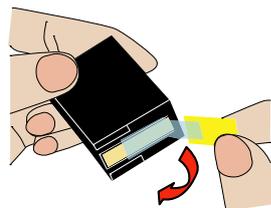
3. プリントカートリッジホルダーと原稿づまり防止ガイドを固定しているテープをはがします。
4. プリントカートリッジホルダーのレバーを、図のように親指と人差し指でつまみながら外します。



5. 袋からプリントカートリッジを取り出します。

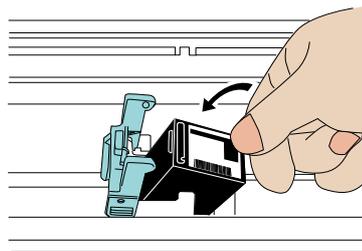


6. プリントカートリッジの保護テープをはがします。



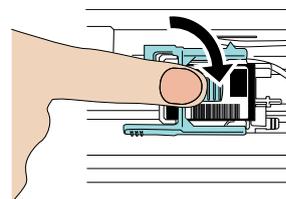
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

7. プリントカートリッジのつまみが右側になるように挿入します。

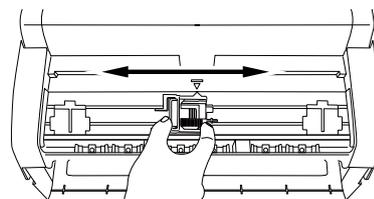


プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

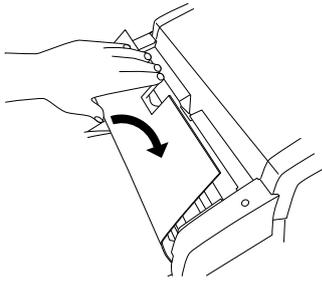
8. プリントカートリッジホルダーのレバーをロックがかかるまでゆっくりと下げて、プリントカートリッジを固定します。



9. プリントカートリッジを印刷ポジションに移動します。
原稿が通過する位置にセットしてください。



10. インクカバーを閉じます。



2.3. 動作確認

プリントカートリッジの取り付けが終了したら、スキャナのオフライン印字テストモードで文字が印字できることを確認してください。テストパターンは、6種類用意されており、一枚の紙に対して1パターン印字されます。

テストパターン1(横書き):
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000

テストパターン2(横書き):
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

テストパターン3(横書き):
 !"#%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

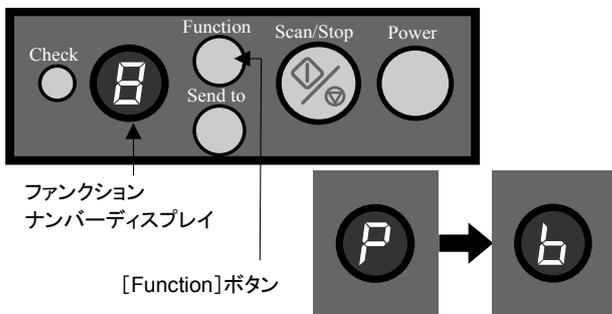
テストパターン4(縦書き):
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000

テストパターン5(縦書き):
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

テストパターン6(縦書き):
 !"#%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

以下の手順で実行してください。

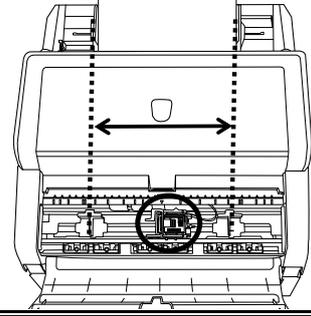
1. スキャナ操作パネル上の[Function]ボタンを押しながら、[Power]ボタンを押して電源を投入します。
 [Function]ボタンは押したままにします。
2. ファンクションナンバーディスプレイが[P]から[b]に変化したら、[Function]ボタンを離します。



3. スキャナに紙をセットします。
 すべてのテストパターンを確認する場合は、6枚以上セットしてください。



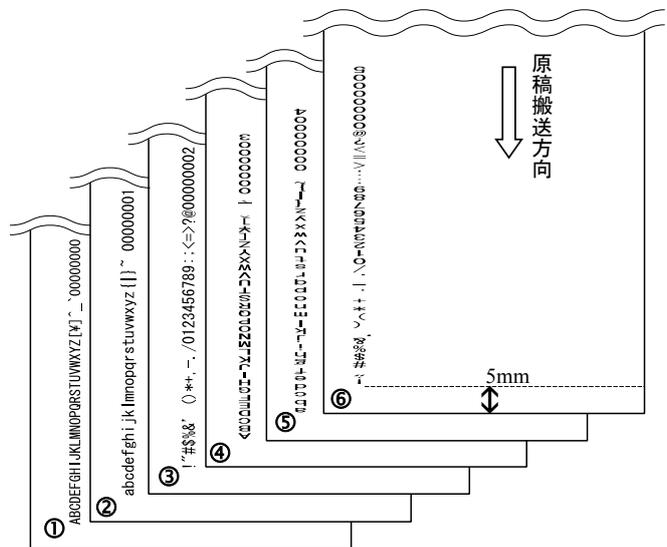
- A4 または、レターサイズ以上の紙をご使用ください。長さが短い場合は、途中までしか印字されることがあります。
- プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。



4. [Scan / Stop]ボタンを押します。
 ⇒ 紙が搬送され、先端 5mm からテストパターンが印字されます。(誤差±4mm)
5. 次のテストパターンを印字する場合は、手順 4 に戻ります。



[Scan / Stop]ボタンを押す毎に、テストパターン 1 ~ 6 が、順番に繰り返し印字されます。このとき、「00000000」の部分は、0 から始まり1 刻みでカウントされます。



テストパターン印字サンプル

6. 印字テストモードを終了する場合は、[Power]ボタンを2秒以上押して、スキャナの電源を切断します。

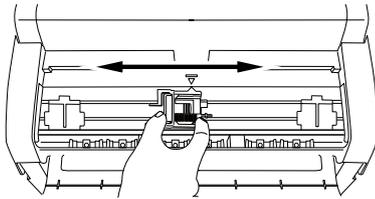
第3章 基本的な操作方法

3.1. 印刷位置の合わせ方

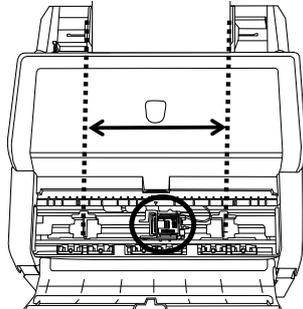
以下のように印刷位置の設定を行います。

1. インクカバーを開きます。
2. プリントカートリッジを印刷ポジションに移動します。

図のようにプリントカートリッジをつかんで左右にスライドさせ、原稿幅の範囲内で、目的の位置にセットしてください。

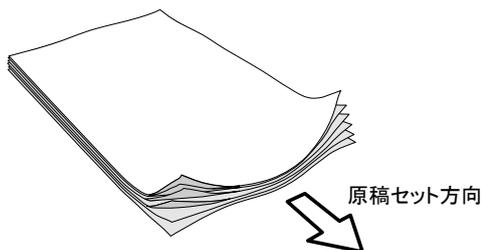


- プリントカートリッジホルダー上の「▲」マークの位置に印字ヘッドがあります。印字位置の目安にしてください。
- プリントカートリッジ上方に、原稿サイズの見盛りが刻まれています。原稿幅の目安にしてください。
- 実際に読み取る原稿をスキャナにセットして、プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。



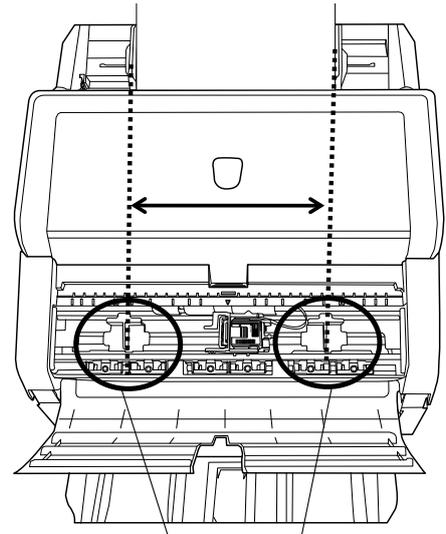
3.2. 原稿づまり防止ガイドの使い方

以下のように、先端がカールした原稿を使用する場合は、原稿づまりを防止するために、「原稿づまり防止ガイド」を使用してください。



以下のように、原稿の端が通過する部分に、原稿づまり防止ガイドを配置します。

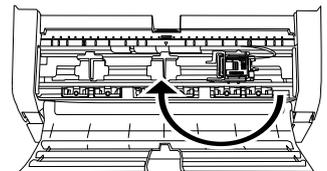
1. 原稿をスキャナにセットします。
2. インクカバーを開きます。
3. 原稿づまり防止ガイドを、原稿の左右両端に、スライドさせます。



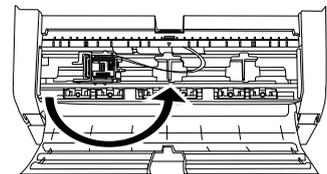
原稿づまり防止ガイド



幅の広い原稿に対して端の方に印刷したいとき、原稿づまり防止ガイドが邪魔になる場合は、取り外して中央の開きスペースに取り付けてください。
右端に印刷する場合



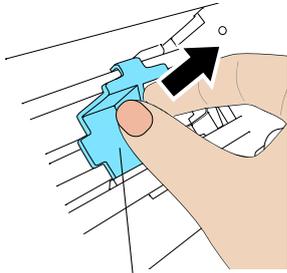
左端に印刷する場合



原稿づまり防止ガイドを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

<原稿づまり防止ガイドの外し方>

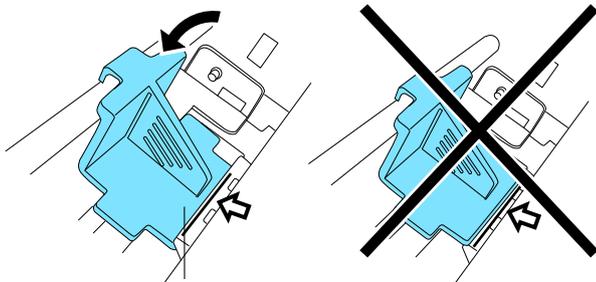
以下のように、指でつまみ、上に引っ張って取り外します。



原稿づまり防止ガイド

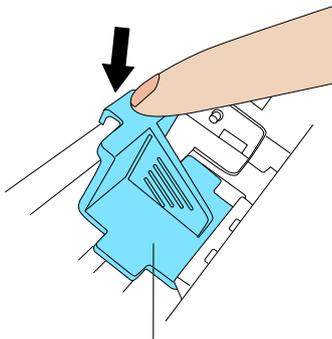
<原稿づまり防止ガイドの取り付け方>

1. 左図のように原稿づまり防止ガイドを乗せます。



原稿づまり防止ガイド

2. 頭の部分を押しはめ込みます。



原稿づまり防止ガイド

3.3. 印刷設定

インプリンタの印刷設定は、スキャナドライバの設定画面で行います。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳細は、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



以下のような設定が可能です。

- 読み取り開始位置
 - フォントの向き／幅
 - 印刷文字列指定(最大 43 文字)
 - カウンター出力指定(桁、加算/減算、ステップ)
- 詳細は、「PaperStream IP ヘルプ」を参照してください。

3.4. プリントカートリッジの交換

以下の手順でプリントカートリッジを交換します。



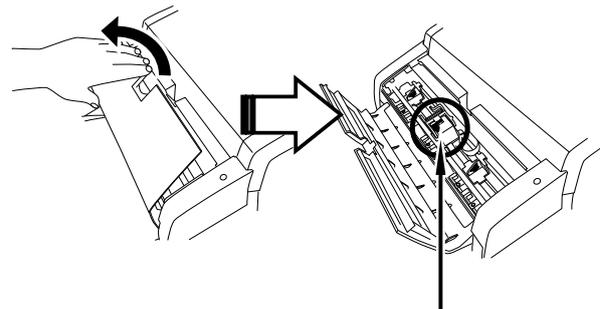
- 以下の画面が表示されたら、すみやかにプリントカートリッジを交換してください。



そのまま使い続けると、印字かすれが発生する場合があります。

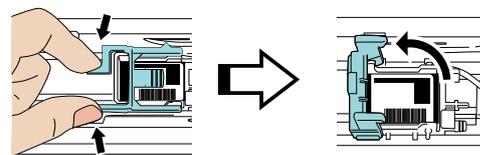
- プリントカートリッジの交換時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

1. スキャナの電源を切断します。
2. インクカバーの中央に手をかけ図のように開きます。

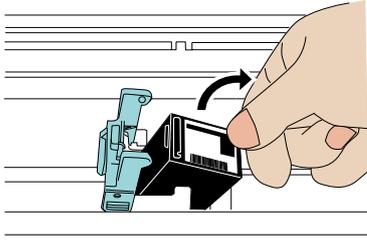


プリントカートリッジホルダー

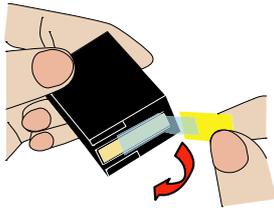
3. 図のように親指と人差し指でつまみながら、プリントカートリッジホルダーのレバーを開きます。



4. 古いプリントカートリッジを指でつまんで取り外します。

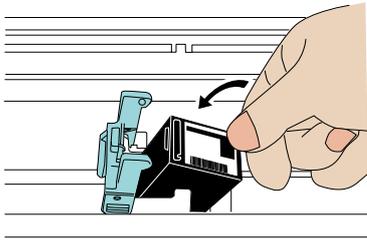


5. 新しいプリントカートリッジの保護テープをはがします。



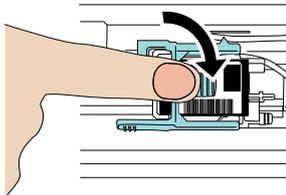
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

6. プリントカートリッジのつまみが右側になるように挿入します。

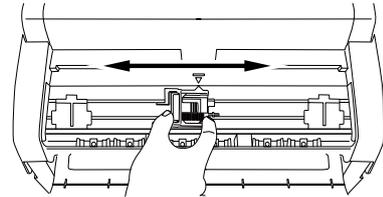


プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

7. レバーをロックがかかるまでゆっくりと下げて、プリントカートリッジを固定します。

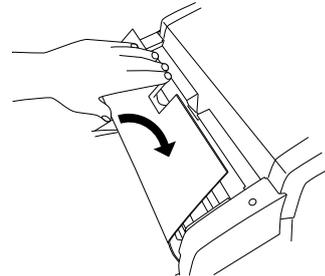


8. プリントカートリッジを印刷ポジションに移動します。原稿が通過する位置にセットしてください。



原稿の端ぎりぎりには印刷する際は、プリントカートリッジの設定位置によっては印刷が原稿幅を超えてしまう場合がありますので、注意してください。

9. インクカバーを閉じます。



10. スキャナの電源を投入します。

11. 以下の方法で、インク残量カウンタをクリアします。



プリントカートリッジを交換後は、必ずインク残量カウンタをクリアしてください。

- ① 「Software Operation Panel」画面を表示します。

Windows Server 2008/Windows 7 以前

「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

Windows Server 2012/Windows 8

スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

Windows Server 2012 R2/Windows 8.1

スタート画面左下にある「↓」→「fi Series」の「Software Operation Panel」をクリックします。「↓」はマウスを動かすと表示されます。

- ② 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- ③ 「インク残量」の[クリア]ボタンをクリックします。
⇒ インク残量カウンタが 100 になります。
- ④ 「Software Operation Panel」画面の[OK]ボタンをクリックします。

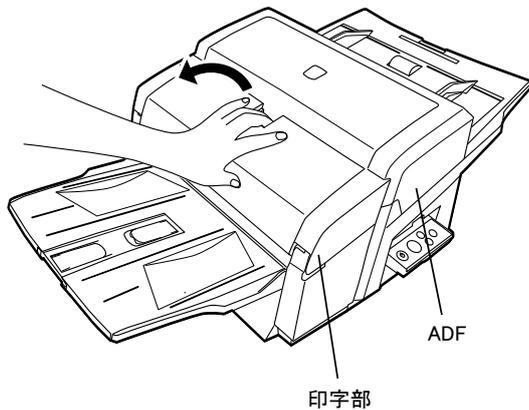
3.5. 原稿づまりの解除方法

原稿づまりが発生した場合、次の手順でつまった原稿を取り除いてください。



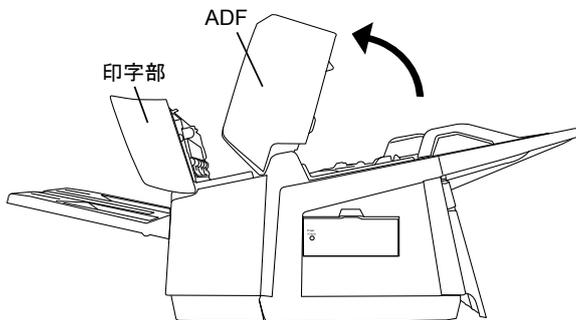
つまった原稿は無理に引き抜かず、印字部および ADF を開いてから取り除いてください。

1. ADF 給紙シュート(スキャナ)上にある原稿を取り除きます。
2. 印字部の中央に手をかけ、図のように開きます。



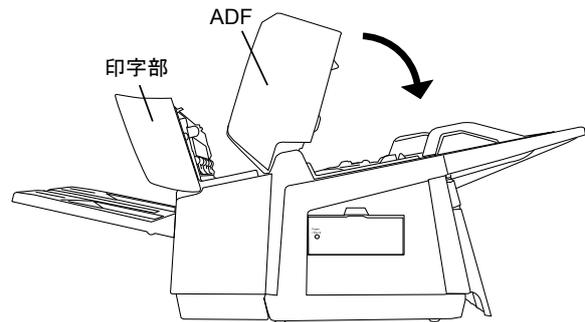
ADF を開く際は、必ず印字部を開いてから行ってください。

3. ADFを開きます。

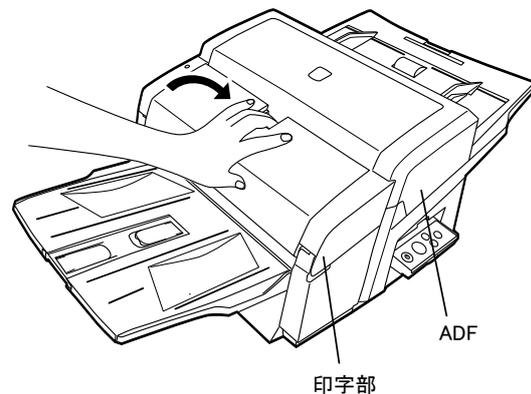


4. つまっている原稿を取り除きます。

5. ADFを閉じます。



6. 印字部の中央を持って、図のように閉めます。



印字部を閉める際は、ADF が閉じていることを確認してから行ってください。



- 印字中にインプリンタを動かしたり、衝撃をあたえたりしないでください。印字不良の原因になります。
- 印字を行わない状態が長く続くときは、プリントカートリッジを装置から取り外して保管することをお勧めいたします。
- 印字を行わなくても、スキャナの電源投入時にインクは消費されます。
- インプリンタをスキャナに取り付けた状態で輸送しないでください。インプリンタが破損する恐れがあります。

第4章 日常のお手入れ

4.1. プリントカートリッジの清掃

プリントカートリッジのノズルプレート面にインクなどの汚れが付着したり、しばらく使用せず放置したりした場合、目づまりなどにより文字が乱れることがあります。このような状態になったら、プリントカートリッジのノズルプレート面を清掃してください。

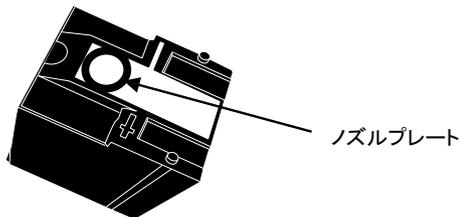


清掃には、埃の出にくい、乾いた布またはウェス（ティッシュペーパーは不向きです）を使用し、ノズルプレート面の汚れを優しく拭き取るようにしてください。



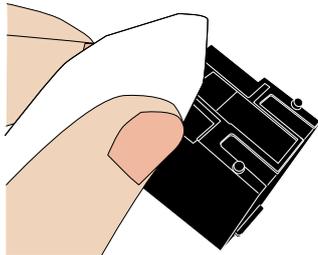
プリントカートリッジを清掃しても目づまりが解消できない場合は、新しいプリントカートリッジに交換してください。

1. スキャナの電源を切断します。
2. プリントカートリッジを取り外します。
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）



接点部分およびノズルプレートに直接手で触れないように注意してください。印字不良や接点不良の原因になります。

3. ノズルプレート面の汚れを優しく拭き取ります。



4. 汚れが拭き取られたことを確認し、プリントカートリッジを取り付けます。
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）



プリントカートリッジを取り付けるときに、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

4.2. インプリンタの清掃

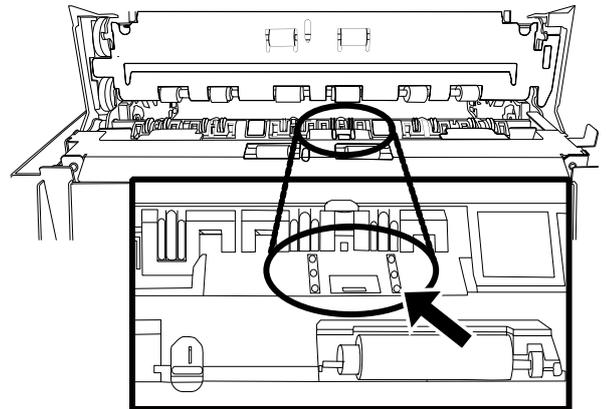
印字処理枚数が多くなると、プリントカートリッジホルダー底面にインクなどの汚れが付着し、原稿が汚れる場合があります。

以下の手順で、日常のお手入れとして、プリントカートリッジホルダー底面を清掃してください。

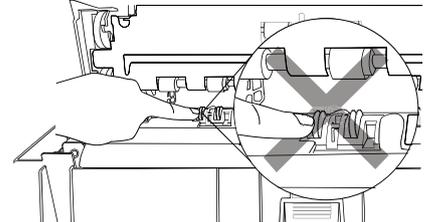


- 清掃には、吸収性のよいものを使用し、底面の汚れを優しく拭き取るようにしてください。
- インクが固まってしまった場合は、湿らせた布で優しく拭き取ってください。（インクは水性ですので、水で拭き取ることができます。）

1. スキャナの電源を切断します。
2. プリントカートリッジを取り外します。
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）
3. 印字部を開きます。
4. プリントカートリッジホルダー底面に、布などを軽く押し当てるようにして汚れを拭き取ります。



清掃の際に、印字部側についている金属ローラに触れないように注意してください。



5. 汚れなどが拭き取られたことを確認し、印字部を閉じます。
6. プリントカートリッジを取り付けます。
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）

4.3. ローラの清掃

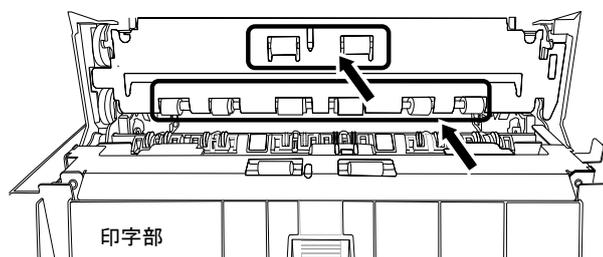
搬送部のローラ表面にインクや紙粉などの汚れが付着した場合、原稿が正しく搬送されなくなることがあります。このような状態にならないように、定期的にローラ表面を清掃してください。



目安として、5,000 枚読み取るごとに清掃を行ってください。

1. 印字部を開きます。
2. ゴムローラを清掃します。

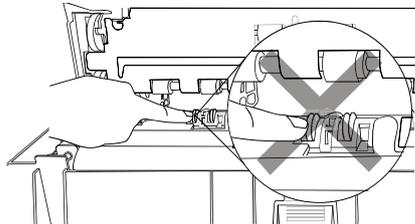
搬送部の下にある、8箇所のごみローラを清掃してください。



指で回転させながら、表面に布などを軽く押し当てるようにして汚れを拭き取ります。

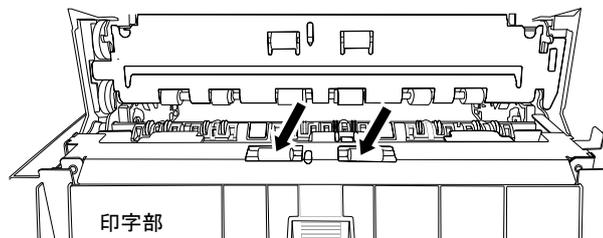


清掃の際に、印字部側についている金属ローラに触れないように注意してください。



3. プラスチックローラを清掃します。

印字部にある2つのプラスチックローラ(黒)を清掃してください。



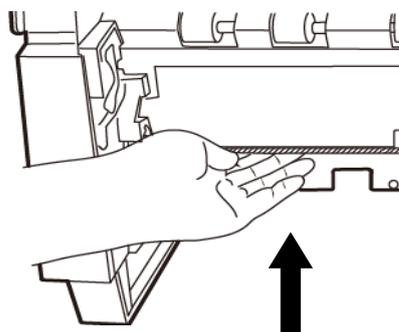
指で回転させながら、表面に布などを軽く押し当てるようにして汚れを拭き取ります。

4. 汚れが拭き取られたことを確認し、印字部を閉じます。

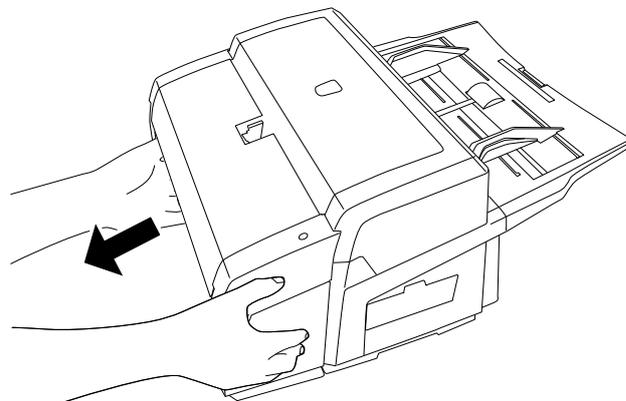
4.4. インプリンタの取り外し方

スキャナから、インプリンタを取り外す際は、「2.1. インプリンタの取り付け」を参考に、以下の手順で行ってください。

1. スタッカーを外します。
2. スタッカー下のカバーを外します。
3. EXT ケーブルを外します。
4. 固定ネジを外します。
5. インプリンタ底面左側にあるレバーを左手で押し上げます。



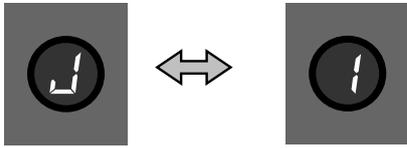
6. レバーを押したまま、図のように取り外します。



7. アタッチメントガイドを取り外します。
(「アタッチメントガイドの取り外し方」(8ページ)を参照)
8. 手順 2 で外したカバーをスキャナに取り付けます。
9. 手順 1 で外したスタッカーをスキャナに取り付けます。

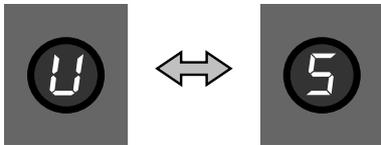
第5章 エラーメッセージ

ファンクションナンバーディスプレイが以下のように表示される場合は、インプリンタに異常が発生しています。



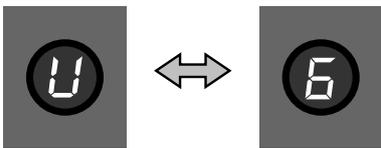
内容 : インプリンタ内部で原稿づまりが発生しました。

対処方法 : 「3.5. 原稿づまりの解除方法」を参考にし、つまった原稿を取り除いてください。



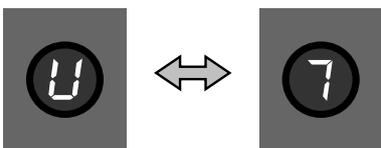
内容 : インプリンタの印字部またはスキャナの ADF が開いています。

対処方法 : 印字部または ADF を閉じてください。



内容 : プリントカートリッジがセットされていません。

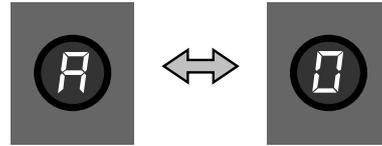
対処方法 : インクカバーを開けて、プリントカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。



内容 : インプリンタの印字領域が原稿から外れています。プリントカートリッジの位置を確認してください。または、印字開始位置を確認してください。

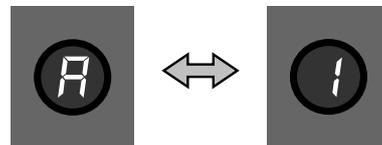
対処方法 : プリントカートリッジの位置が原稿の幅からはみ出している場合は、原稿の幅に収まるように移動してください。

印字が原稿の長さ方向にはみ出している場合は、スキャナドライバにて、印字が原稿上に収まるように、印字開始位置や文字数を調整してください。



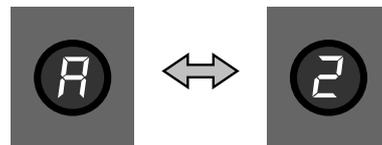
内容 : インプリンタのコントロールボードに異常が発生しました。

対処方法 : スキャナの電源を切断して、EXT ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再び電源を投入してください。
(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)



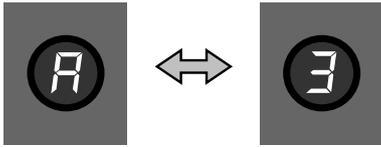
内容 : インプリンタに通信タイムアウトエラーが発生しました。

対処方法 : スキャナの電源を切断して、EXT ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再び電源を投入してください。
(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)



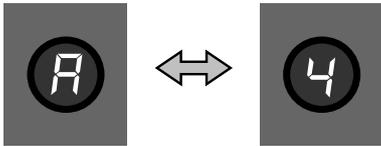
内容 : インプリンタのインクヘッドに異常が発生しました。

対処方法 : スキャナの電源を切断して、EXT ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再び電源を投入してください。
(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)



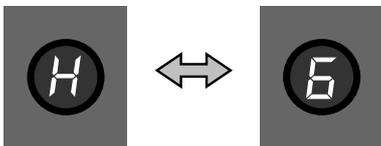
内容 : インプリンタ装置の内蔵メモリ (EEPROM) に異常が発生しました。

対処方法 : スキャナの電源を切断して、EXT ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再び電源を投入してください。
(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)



内容 : インプリンタの ROM に異常が発生しました。

対処方法 : スキャナの電源を切断して、EXT ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再び電源を投入してください。
(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)



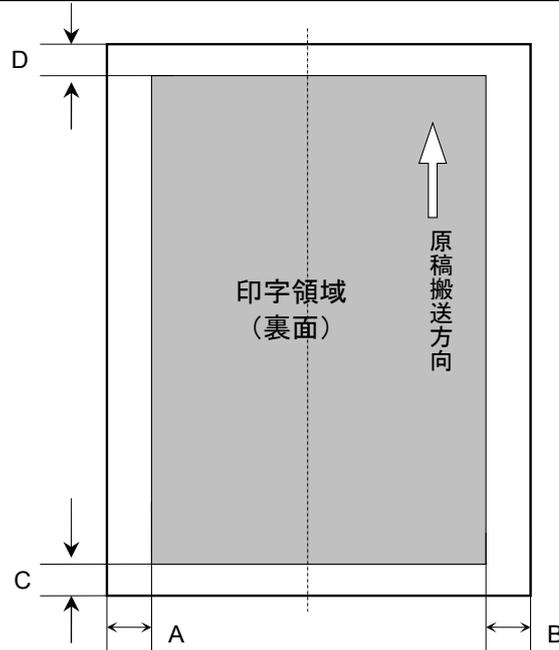
内容 : インプリンタの回路に異常が発生しました。

対処方法 : ご購入の販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



その他のエラーについては、fi-6670/fi-6670A に添付されている SETUP DVD-ROM で提供されている『イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。

第6章 仕様

項目	説明
印字方式	サーマル・インクジェット
印字タイプ	ポストインプリンタ（読み取り後に印字）
印字文字	アルファベット：A～Z, a～z 数字：0, 1～9 記号：! " \$ # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { } ~
最大印字文字数	最大 43 桁
印刷方向	標準：0°, 180°(横書き), 90°, 270°(縦書き) 細幅字：0°, 180°(横書き)
文字サイズ	標準：縦 2.91mm×横 2.82mm（横書き）, 縦 2.82mm×横 2.91mm（縦書き） 細幅字：縦 2.91mm×横 2.12mm（横書き）
文字ピッチ	3.53mm（標準） 2.54mm（細幅字）
フォントスタイル	標準、太字
文字幅	標準、細幅字
使用可能な原稿	fi-6670/fi-6670A で使用可能な原稿 詳細は『イメージスキャナ オペレーターガイド』の「第 2.2 章 ADF にセットする原稿について」を参照してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> 感熱紙、熱転写用紙、コート紙、アート紙など、表面に光沢のある原稿はインクの乾きが悪く、印字が不良になる場合があります。また、清掃周期も短くなります。 クレジットカードのような厚みのあるプラスチック原稿は読み取ることができません。 </div>
印字領域	 <p style="text-align: right;">A=5mm B=5mm C=5mm D=5mm</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>原稿の端から 5 mm の領域には印字をしないでください。</p> </div>
印字位置精度	搬送方向：±4mm（開始位置）
寸法	インプリンタ単体：416（幅）×157（奥行き）×252（高さ）[mm] スキャナ搭載時：432（幅）×749（奥行き）×300（高さ）[mm]
重さ	5 kg
動作環境	温度：10～35℃、湿度：20～80%
消耗品	プリントカートリッジ（型名：FI-C200PC）（21 ページ「消耗品の購入先」参照） 印字可能文字数：4,000,000 文字 （ただし、フォントの指定に依存して減少する場合があります。） 交換周期（目安）：4,000,000 文字または開封後半年

※保守サポート期間は、お客様の購入後 5 年間です。

本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。

修理・問い合わせについて

サポート&サービスのご案内

当社では、お客様に安心して FUJITSU イメージスキャナ「fi シリーズ」をお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

あらかじめ契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供します。

◆ 定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにお伺いして保守修理作業を実施します。

◆ 定額定期保守サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにお伺いして修理作業を実施します。

■ スポットサービス

必要なときに、そのつどご利用いただけます。

◆ 訪問修理(有償) *1

機器の故障発生時にご連絡いただき、その後、サービスエンジニアが直接修理に伺います。

◆ 持込/送バック修理(有償)

機器の故障発生時にお客様の機器を弊社の修理センターで修理します。

*1:保証期間中の場合も有償となります。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/maintenance-service/index.html>

サービスセンター窓口

お客様からの FUJITSU イメージスキャナ「fi シリーズ」全般に関する操作や故障のお問い合わせに迅速に対応いたします。

■ 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター

E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	050-3786-0811 ● 上記の電話番号は、050 IP 電話サービスを利用しております。050 IP 電話については弊社のサポートホームページをご覧ください。 上記の電話番号がご利用いただけない場合は、NTT 東日本または NTT 西日本の一般加入電話からおかけいただくか、045-523-1995 にお問い合わせください。 ● 電話番号をお間違えにならないようお願いいたします。 ● トーン信号が出ない電話機でおかけの場合は、そのまましばらくお待ちください。オペレーターが応答します。 お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただいております。
受付時間	9:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/



保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

消耗品の購入先

プリントカートリッジなどの消耗品のご購入については、本製品を購入された販社/販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

■ 株式会社 PFU PFU ダイレクト

E-mail	shop@pfu.fujitsu.com
電話	0120-14-4541 お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)
ホームページ	http://www.pfu.fujitsu.com/direct/